

☑=対象(記述がないものは誰でも可) ☑=定員  
☑=参加費または入場料(記述がないものは無料)  
☑=持ち物 ☑=申し込み ☑=当日、直接会場へ(事前申し込み不要)

☆おいでください

■第4回上尾de映画の時間(ドキュメンタリー映画『うまれる』(企画・監督・撮影:豪田トモ)上映) 3月4日(日)①午前10時30分②午後2時③5時30分、コミュニティセンターホール 費一般/999円、中学・高校生/700円、4歳~小学生/500円、3歳以下/無料(席なし・膝上鑑賞) 当日 佐藤☎070-5571-6483(午後6~9時) **ひと言!** 午前の部、乳幼児同伴OK。同時に字幕付きバリアフリー上映。

■土地家屋調査士会上尾支部による市民無料相談会 3月17日(土)午後1時30分~4時、文化センター202 ☎3月16日(金)までに 三輪☎776-4158(午後8時まで) **ひと言!** 土地建物、隣接地との境界などの問題で悩み・心配がある人対象。

☆いきいきサークル 会員・役員募集

●市なぎなた連盟 毎週土曜日①午前9時30分~正午②正午~午後3時③午後3~6時、上尾・東・今泉小学校体育館、市民体育館剣道場 月額千円 田中☎726-0087(午後6時以降) **ひと言!** 初心者教室を行います。ぜひ体験してください。お待ちしております。

●泉風会(詩吟) 毎月第1・3木曜日午後1~4時、上尾公民館 月額2千円 ☎市内に在住の人 石川☎725-8748(午後8時まで) **ひと言!** 古今の名詩を楽しく吟じて元気いっぱい。初心者大歓迎です。

●舞踊教室藤真流(日本舞踊) ①松の会/毎月3回水曜日午後2~4時②梅の会/毎月3回水曜日午前10時~正午③あゆみの会/毎月3回水曜日午前10時~正午、文化センター 月額3千円 中山☎772-9664 **ひと言!** 日本舞踊の美しさを一緒に踊りませんか。

●平方ニットクラブ(編み物) 毎月1回火曜日午前9時30分~正午、平方公民館 月額1,500円 関根☎725-1702(午後1時以降) **ひと言!** 初心者大歓迎。

●親子でリトミック 毎月①第2・4水曜日②第2・4金曜日③④とも午前10時~同50分、大石公民館 月額千円 ☎2・3歳くらいの子どもと保護者 ☎川端☎050-3660-1847 **ひと言!** 音楽を通じて、親子で楽しくリトミックをしませんか。

●和ごころ(和菓子作り) 毎月第3火曜日午後1時30分~4時30分、上尾公民館 月額1,500円 深海☎775-0911(午後6時以降) **ひと言!** 和菓子を作るサークルで上生、焼き菓子などを作り楽しんでます。

●サラン(韓国語) 毎月3回水曜日午前10時~正午、大石公民館 月額3千円 ☎市内に在住の人 渡辺☎776-8420(午後5時以降) **ひと言!** 楽しい韓国語のサークルです。韓国語でドラマを見ます。

●テニスサークルひまわり 毎週水曜日午後1~4時、市民体育館テニスコート 月額500円 三雲☎725-2758(午後10時まで) **ひと言!** 初心者歓迎。一緒にテニスをエンジョイしませんか。見学体験可。

●大谷囲碁同好会 毎週土曜日午前9時~正午、大谷公民館 月額千円(高校生以下は無料) 横堀☎726-3447 **ひと言!** 囲碁は学力向上・認知症防止に役立つゲームです。初心者歓迎。

●鶴友会(川柳) 毎月第3木曜日午前9時45分~正午、原市公民館 月額1,100円 木本☎722-7424 **ひと言!** 初心者歓迎。川柳を通して人生を学び合うサークル。親切な指導。

●市日本舞踊連盟 4月7日~6月2日(5月5日を除く)の毎週土曜日(全8回)午後1時30分~3時、谷津公民館(谷津二丁目) ☎3月10日(土)までに(当日も可) 費2千円(8回分) ☎幼児以上の初心者 清水☎774-5416(午前9~11時) **ひと言!** 日本舞踊「祇園小唄」を楽しく踊ってみませんか。

●ソーシャルつつじ(社交ダンス) 毎週日曜日①入門/午後6~7時②初~中級/午後7~9時、大谷公民館 月額①2千円②3千円(①②とも入会金千円) ☎①初心者②初・中級者 柿本☎775-7829 **ひと言!** ①②クラスとも見学自由です。どうぞおいでください。

●日曜クッキング(男の料理) 毎月第3日曜日午前9時~正午、大谷公民館 月額2千円(材料費含む) ☎男性 神津☎725-3550 **ひと言!** 暇を持て余している男性諸君、奥さんをあっと言わせましょう。



西貝塚環境センター

先日「ごみ収集停止の危機」という問題が発生した他市のニュースを見て驚きました。私たちの日々の暮らしや活動から排出される大量のごみが収集されない事態が発生すると、この快適な生活は困難になります。

西貝塚環境センターの処理施設は、最大で日量300トンの処理能力がありますが、現在は1日に190トンのごみを処理しているそうです。焼却施設には量の限界と老朽化の問題があるため、私たちはごみを減らし、資源を生かすことに参加・協力していくことがさらに必要とされます。ここ数年の排出量は、市民の協力で年々減少しつつあるそうです。また市内には、4,100カ所を超えるごみ

全は、ごみになる物を減らす「リデュース(Reduce)」、物を大切に繰り返し使う「リユース(Reuse)」、資源として再利用する「リサイクル(Recycle)」、「3つのR」を実践することです。ごみ減量のポイントには、「捨てればごみ、生かせば資源」を意識し、リサイクルできる物は生かすこと。それが環境にも優しく、最も大切なことだと実感しました。

集積所があり、指定日と分別を守ることも重要です。可燃ごみ焼却灰は、市内には処分場がないために、他地域の最終処分場に埋め立てを依頼していますが、受け入れ側の許容量にも限界があるようです。

私たちは、身近な環境保全や地域でのリサイクル活動など、環境負荷の低減に日々努めています。生活の場から廃棄物を少しでも削減し適切に処理する仕組みなどを知ること、環境への意識を一人一人が高め、環境に配慮した生活を実践できるのではないのでしょうか。そのため環境教育や啓発活動、環境美化活動やごみ減量化の取り組みは大切なことです。私たちができる環境資源の保

まごがど  
特派員  
だより

西貝塚環境センターを見学して



手呂内 章扶さん  
(原市地区)

市民のひろば

津軽三味線で情熱的な  
音楽を奏でる

スポット  
ライト  
~人・仲間~



北村 貴寿さん(本名/安達英寿)  
(緑丘)

津軽三味線奏者の北村貴寿さんは、現在後進の育成に努めながら、舞台やイベントに出演するなど、さまざまな活動を行っています。「三味線を始めたきっかけをよく聞かれますが、実は覚えていません。もともと和風の物が好きで、和楽器にも自然に興味を持ちました」。11歳から現在の師匠に師事し、太棹という重厚な三味線で迫力のある情熱的な音色を奏でる北村さんは、成人式を終えたばかりの大学生です。「若いのに珍しいと言われることもありすが、逆に自分の生まれた国の物なのに、どうして珍しいと思われるのかが不思議です」と笑います。

幼少期から続けている三味線ですが、今まで「やめたい」と思ったことはないと言います。「才能よりも、自分に合うかどうかが重要だと思います。合わなかつたら頑張ろうと思えないし、限界に挑戦することもできない。最近はずっと面を使う人もいますが、津軽三味線はもともと譜面を使わずに、師匠の演奏を覚えて習得します。そういうところが自分に合っていたのかもかもしれません」と話すだけあって、普段から三味線を持ち歩き、いつでも弾けるようにしています。

「自分でうまく弾けたと思った時にお客さんも同じように感じてくれる時、大きな喜びを感じます。良いものを多くの人に聞いてもらえて初めて意味があると思うからです」

伝統文化を伝えるために新分野にも挑戦



ライブで演奏する北村さん  
(1月29日、東京都北区)

現在、仲間と共に三味線とダンスを融合させた舞台などを上演し、新しい分野にも挑戦しています。「今後もいろいろな新しいものを生み出していくことで、日本の伝統文化を若い世代も含めた多くの人に楽しんでもらいたい」と笑顔で語りました。